

沖縄県会場（沖縄コンベンションセンター）で受験される受験者の皆様へ

令和2年度第1回高等学校卒業程度認定試験の沖縄県会場における
全ての受験生に対する検温の実施について

令和2年度第1回高等学校卒業程度認定試験の実施に関しまして、新型コロナウイルス感染症予防に十分配慮した上で、8月12日（水）、13日（木）に試験を実施することとしておりますが、施設管理者等の要請により、下記のとおり **沖縄県会場で受験する全ての受験者に対して、非接触体温計による検温を実施します**ので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 試験会場への来場時間について

検温実施時間を考慮し、**受験者は、各自が受験する科目の試験開始時間の50分前までに試験会場に来場してください。**

なお来場時間は、8月12日（水）、13日（木）とも同じです。

| 試験時間 | 第1日目（8/12） | 第2日目（8/13） | 来場時間 |
|-------------|------------|--------------|---------|
| 9:30～10:20 | 物理基礎 | 倫理 | 8:40まで |
| 10:50～11:40 | 現代社会、政治・経済 | 日本史A・B、地理A・B | 10:00まで |
| 12:40～13:30 | 国語 | 世界史A・B | 11:50まで |
| 14:00～14:50 | 英語 | 生物基礎 | 13:10まで |
| 15:20～16:10 | 数学 | 地学基礎 | 14:30まで |
| 16:40～17:30 | 科学と人間生活 | 化学基礎 | 15:50まで |

2. 検温の実施方法について

検温は、非接触体温計により、8月12日（水）、13日（木）の両日、試験会場正面入口付近で実施します。

係員の指示に従い、最低1m（できるだけ2mを目安に）間隔を空けて整列して下さい。

（1）検温の結果、37.5度以上の発熱が認められた場合

検温の結果、37.5度以上の発熱がある場合は、再度の検温を行います。

再度検温した結果、37.5度以上の発熱が認められた場合は、試験会場への入場をお断りさせていただきます。

また、必ず医療機関で受診し、適切な治療を受けるとともに、**再試験の受験を希望される場合は診断書の取得をお願いいたします。**

〔 再試験の受験申請の際に、再試験申請書に診断書を添付し、文部科学省に提出していただきますので、必ず取得してください。 〕

(2) 検温の結果、上記(1)に該当しなかった場合

検温後に、係員から検温を実施し、発熱がないことを証明するシールを配布いたしますので、速やかに受験票の表面(写真が貼ってある面)の余白部分に貼って下さい。

3. 試験会場への再入場について

試験会場への再入場の際は、受験票の表面(発熱がないことを証明するシールが貼ってある面)を係員に提示していただき、係員の確認後に入場して下さい。

検温を行っていない場合や発熱がないことを証明するシールが貼っていない場合は、再度の検温を行います。

4. その他留意事項

(1) 試験開始時間直前に来場した場合、検温に時間を要したことによる試験時間の延長は行いません。

(2) 試験開始時間後に来場した場合も検温を実施しますが、試験開始時間から20分を経過した場合は試験室の入室を認めません。

※ 公共交通機関の不通や遅れ等に遭遇した場合は、以下の沖縄県会場緊急連絡先(会場案内図に掲載されている緊急連絡先)に連絡して指示を受けるとともに、必ず「遅延証明書」を入手してください。

○ 沖縄県会場緊急連絡先：080-6199-8750

【本件お問合せ先】

文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課認定試験第二係

TEL：03-5253-4111(内2024)